

# 一般質問

6月定例会では、29人の議員が質問を行いました。本紙では、各議員の質問の中から、質問と答弁の要旨を掲載します。なお、議事録の全文は、県議会ホームページからご覧になれます。

## 若桜鉄道S-L 走行社会実験

福田 俊史 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

**問** 45年ぶりに本線を走るS-L走行社会実験が4月11日若桜鉄道で行われたが、多くの入込客や大きな経済効果もあり、県東部の広域観光に資するものと確信した。知事はこの実験事業について、どう分析しどう評価されたのか。

**答** 若桜鉄道や関係者の御尽力により、難しいプロジェクトではあったが成し遂げたことを高く評価する。今後若桜鉄道を丸ごと鉄道博物館というイメージで売り出したり、S-Lを活用した旅の形を作っていく必要があると思う。

## 鳥取大砂丘と 空港空の駅

銀杏 泰利 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

**問** ①鳥取大砂丘、観光客300万人台に。②ビクターセンター設置でフォーラム開催を。③砂防林の一部伐採を。④鳥取砂丘コナ空港の空の駅で、ターミナルビルと国際会館の一体化、マリニピア露との直通道路の設置を。

**答** ①APGN(※1)開催、ジオパークのユネスコ加盟、その延長線上に見え始めるか。②シンポジウム開催を検討。③治山事業で除伐を一部開始済。保険保安林的機能検討も必要。④一体化は予備設計中で、連絡道路も検討作業中。

## 中山間地対策 の充実を

前田 八寿彦 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** ①中山間地域の保育料無償化

モデル事業の成果は②鳥取看護大学に訪問看護師養成プログラムを③中山間地域の診療所の確保を。

**答** ①昨年は400名の保育料免除、161名の軽減を実施。子育ての負担軽減となり中山間地域への転入の誘因となった②鳥取大学の訪問看護師養成の取組を鳥取看護大学に紹介したい③診療所の閉鎖は医師会も問題意識を持ち、県と連携した在宅診療の応援プロジェクトを動かしている。県も市町村と協力し、心を配っていききたい。

## 医療構想・公 共施設・虐待

坂野 経二郎 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

**問** ①国が示した病床数の削減については、県内の病院や団体の意見を十分反映させるべきだ②少子高齢化の課題は人間だけではなく、公共施設も同じだ。公共施設老朽化の課題解決に対する、市町村との連携が不十分だ③乳児死亡事案再発防止には、事件の真相究明に加え、専門家だけでなく、子育て世代の声に耳を傾けるべきだ。

**答** ①調整会議を設置する②市町

村との意思疎通を徹底し、施設経営に当たる③万全の対策を県民の皆様が目線も入れながらつくる。

## 特産品開発に ついて

野坂 道明 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 中国政府は漢方薬を重要な国家資源として位置づけ高付加価値の商品として売り出そうとしている。8割以上を輸入に頼る日本の製薬メーカーは原材料価格の高騰に悩んでおり、厚生労働省は薬用植物の国内生産拡大を加速させようとしている。中山間地を多く抱える鳥取県の新たな品目として大きな可能性があると、思うが知事の所見を伺う。

**答** 通常の農業生産と違って付加価値の高い分野として期待するところであり力を入れていきたい。

### 会派正式名称

- 自由民主党…鳥取県議会自由民主党
- 民主党…鳥取県議会民主党
- 希望…鳥取県議会希望
- 公明党…公明党鳥取県議会議員団
- 共産党…日本共産党鳥取県議会議員団

※1 APGN…アジア太平洋ジオパークネットワーク

## 遊びで支える 子どもの治療

澤 紀男 議員



選挙区 米子市 会派 公明党

**問** ホスピタル・プレイ・スペースリスト（HPS）は遊びを通して子どもの治療が前向きになるよう医療器具等を使った遊びで治療への抵抗感や手術への不安を取り除いたりする、イギリスで始まった専門職。将来の小児医療を考え県立病院へのHPSの配置と鳥取看護大学での人材養成講座を開設すべきと考えるが知事に伺う。

**答** 県立病院への配置について後押しする。鳥取看護大学にも伝え、鳥取県らしい教育になる可能性もあるので話をさせていただきたい。

## 大阪都構想と 関西広域連合

長谷川 稔 議員



選挙区 倉吉市 会派 無所属

**問** ①大阪都構想で行政の無駄とされた二重行政と住民投票の評価を問う②定住自立圏構想の検証が地方創生を進める上でも重要ではないか③道州制の是非と関西広域

連合の到達目標と課題を伺う。

**答** ①都構想の住民投票はイエスに近いノーで改革を求める気持ちの現れでは。二重行政は県と市町村で方向性を定めればよい②いろんな試みがなされ、芽を出し始めた③都道府県の枠組みを尊重しながら事務の効率化や簡素化、連携の帰結が広域連合だ。

## 地域医療構想 観光振興など

藤井 一博 議員



選挙区 東伯郡 会派 自由民主党

**問** ①地域医療構想策定には地域の実情を踏まえた配慮を②児童虐待対策の強化を③三徳山日本遺産登録を受けて観光振興策の充実を④音楽文化の振興を。

**答** ①各種関係者を含めた調整会議を圏域ごとに開き、注意深く策定を進める②原因究明分析を行い再発防止に努める③増加する外国人観光客への対応も含め、中部エリア全体としての観光振興を支援する④県内出身の音楽関係者をふるさと大使に任命するなど音楽文化の発展可能性のために努力する。

## 難病対策につ いて

鳥谷 龍司 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 現在、筋ジストロフィーなどの神経難病患者が入院療養できる医療機関が県内になが、県東部の患者のためにも県立中央病院を含め早急に対応すべきと考える。

**答** 鳥取医療センターで神経難病患者の受け入れ病床の増床を計画されており、長年の懸案の一つが動き出そうとしている。神経難病関係を一括して鳥取医療センターで受けることは患者のためにも沿っており、このプロジェクトがうまくいくようにサポートに全力を挙げていきたいと思っている。

## 中核市鳥取市 への県の対応

中島 規夫 議員



選挙区 鳥取市 会派 自由民主党

**問** 鳥取市は平成30年4月1日に中核市つまり保健所設置市を目指しているが、県の対応を問う。具体的には①職員体制②建造物の位置③住民への周知が問題となるが、知事の考えを伺う。

**答** 鳥取市の保健所には、鳥取市、岩美町、八頭3町の1市4町分の保健所業務をまかせたい。県職員の派遣、いつまで現保健所を使いたいかなど市からの提案があればできる限り円滑に進むよう協議に応じる。県政だより、テレビ上の広報番組を使い、周知に努める。

## 共同作業所で 工賃の向上を

濱辺 義孝 議員



選挙区 鳥取市 会派 公明党

**問** 障がいのある方々の工賃向上。一般就労促進のため、複数の事業所で共同作業所を設置。県内企業の仕事を安定的に確保できるのか、参加できない作業所への仕事の提供・相談窓口等、振興センターの役割はどうなるのか問う。

**答** 振興センターが販路開拓をする中で一つ一つの作業所では手に余る受注が出てきた。幾つかの作業所が参加し共同でラインをつくり作業を行う。従来の作業所の仕事と競合するものではない。障がい者の皆様の工賃向上に繋がる。

## 人間力育成とすなば王国

福浜 隆宏 議員



選挙区 鳥取市 会派 無所属

**問** ①結婚や子作りを断念する低所得の若者支援を②未来人材育成基金の対象者拡充を③県東部観光を「すなば王国」で束ねアラブとの連携を④「森のようちえん」の理念に基づいた社会教育充実を⑤学校での情報モラル教育強化を。

**答** ①正規雇用推進と子育て環境の充実と情報提供を行う②スタート後、柔軟に取り組む③チャンスを生かしたい。アラブとのパイプづけを検討したい(教育長)④社会教育主事の養成を強化⑤情報教育推進担当を置くなど議論する。

## 山陰海岸学習館と教育旅行

広谷 直樹 議員



選挙区 岩美郡 会派 自由民主党

**問** ①学習館は、単なる教育・学習・研究的側面だけでなく、ジオパークの中核的拠点施設の役割として、十分対応できるような必要な対策を講じるべきだが。②教育旅行の誘致、受け入れ体制づくりが進んでいない現状について伺う。

**答** ①地域との連携不足もあるが、ジオツーリズムの拠点性を高めるよう我々執行部側としても支援する。②観光、行政、教育関係者が主体となり、教育旅行推進協議会を立ち上げ、様々な教育支援メニューにテコ入れし売り込む。

## 空港・港湾・漁港の整備

浜田 一哉 議員



選挙区 境港市 会派 自由民主党

**問** ①空港やクルーズ船利用の観光客にコナンやアシックスなど県の魅力をもっとアピールすべき②空港・港湾・漁港を生かすために、米子・境港間の高速道路が必要③漁港施設が高度衛生管理型になる際に必要な設備投資の支援策は。

**答** ①地域の魅力を、デジタルサイネージで掲示する。バリアフリー化も検討する。鬼太郎とコナンは、コラボできないが、目的に応じて検討する。②道路調査が可能となるよう、国、県、一市一村で進捗を図る。③負担緩和は必要。

## 白ネギの黒腐病対策

内田 隆嗣 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 白ネギ産地を守るため和田地区等弓浜半島で発生している黒腐病対策が急務である。対策には農地を休ませることが必要だが、弓浜半島の農地は砂地のため、休耕畑からの飛砂によって黒腐病が隣

接農地に拡大する。土壌消毒が有効だが費用負担が大きく土壌消毒をせず放置する場合も多い。解決には、防除費用の補助制度が必要と考えるが知事の所見を伺う。

**答** 特産品振興の園芸産地の活力増進事業を使い、対応していきたい。

## 県版事業棚卸見直しを検討

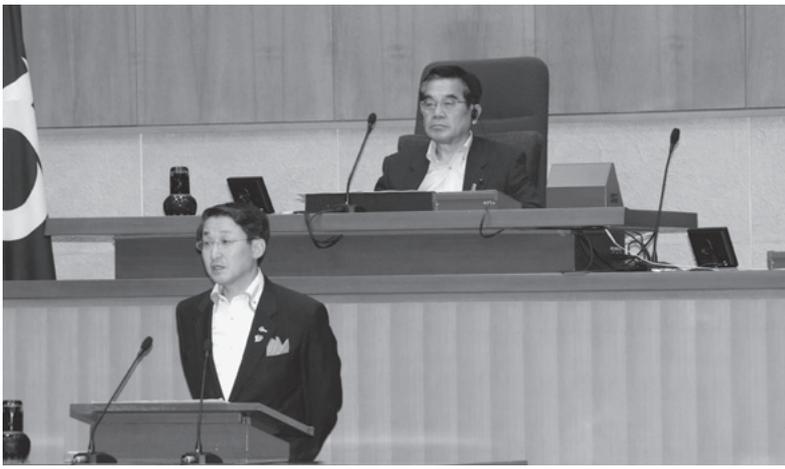
伊藤 保 議員



選挙区 東伯郡 会派 民主党

**問** 5年前から始まった県版事業棚卸し。外部目線を受けて事業を見直しすること自体、一定の評価はするが、現地視察や現場の声を聞くことなく、書類審査だけの評価が混乱を招いている。「事業棚卸し」を棚卸しにかける時期に来ているのではないか。

**答** 現在では、県民参画基本条例も制定され、各種の審議会等に公募員として県民参画の道は開かれており、代替え手段も整っている。次年度以降については、各方面の意見を聞き検討したい。



## 農業農村を守る 介護予防充実

興治 英夫 議員



選挙区 倉吉市 会派 民主党

**問** ①奥部の農業農村を守るため、中山間地直接支払制度の協定期間短縮など要件緩和を国に求めるべき。認定農業者ではない個人農家支援の充実を。②介護予防、重度化予防の取り組み強化を。

**答** ①協定期間を2年にするなど、要件緩和を国に求める。個人農家支援について、市町村、JAと意見交換して必要な対策を検討する。②北栄町型地域ケア会議の仕組み導入支援、介護ケアやりハビリの質向上研修の強化など、充実する方策を探る。

## イクボスと 街中振興2題

浜田 妙子 議員



選挙区 米子市 会派 民主党

**問** ①イクボス宣言に対する本気度と覚悟を問う。②米子の高校生が取り組んだ電柱アートを支援し、まちなか振興を。③今、脚光を浴びる淀江傘振興を米子市と連携し、支援すべき。

**答** ①企業や団体と共に宣言できた。この運動を広げ内実を作っていく。庁内では、イクボス憲章、相談しやすいサポーター、チェック・プランニングシート等具体策を組む②まちおこし策にもなり関係者と話しサポートを考える③関係者との話し合いを進め支援する。

## 林業振興策について

西川 憲雄 議員



選挙区 八頭郡 会派 自由民主党

**問** ①「なりわい」とする為には林道網の整備が不可欠で、急峻な地域は3mの基幹作業道が最適。林道整備推進について伺う。②鹿対策について、個体数削減を色々取り組んでいるが絶対数が減っていない。そこで避妊薬を利用して削減出来ないか？

**答** ①山が十分に活用されているとはいえない状況で支援策が必要。緑プロ（※2）の要請活動をする必要がある②新しい手法の導入の検討と併せ、県をまたいだ協力関係も含め対策を検討してみたい。

## 「正しい日本地図」の揭示

松田 正 議員



選挙区 米子市 会派 自由民主党

**問** 子どもたちにとって、自分の国の領土・領海のことを知っておくというのは重要なことである。全ての教室に正確な領土・領海を示した「正しい日本地図」を揭示していただきたいが、教育長の所見は。

**答**（教育長）授業の時間だけではなくて、日常的に触れるという部分が大それたのかなと思ってる。他県の例なども参考にしながら、現場ともよく話し合いをしながらいかに農業を基幹産業へ

## いかに農業を 基幹産業へ

木村 和久 議員



選挙区 鳥取市 会派 民主党

**問** 農業課題として、グローバル化で受ける影響額は379億が予測され、10年後700億の産出額を目指すには大きすぎるダメージ。TPPへの移行期にあり5年位で自立経営型農業への道筋は。

**答** 5年を目途、私どもの任期中

にある程度その道筋をつけることが必要ではないかという趣旨と思うが、同感だ。ハーフウエーとして5年を目途にある一定のレベル、自立的経営に向けたステップアップの5年間とさせていただきたい。

## 保育・原発・ 産廃処分場

錦織 陽子 議員



選挙区 米子市 会派 共産党

**問** ①第1子からの保育料軽減を②保育士処遇改善のため、正規保育士の雇用制度をつくること③原発の新規制基準を信頼しているか④賛否の判断材料を示さない産廃処分場の地域振興事業の要望とりまとめは賛成への誘導ではないか。

**答** ①市町村の合意のもと進めなければならぬ②正規雇用への転換促進の補助制度を提案している。条例化は課題がある③信頼をしている訳ではない④要望のとりまとめは拙速、押しつけ等批判を受けられない形で進めねばと考える。





## 戦争法、平井県政、中核市

市谷 知子 議員



選挙区 鳥取市 党派 共産党

**問** ①戦争法案の所感②自衛隊C H47配備の影響③平井県政は呼び込み中心。透析通院や障がい者工賃・食事助成、法令違反企業の補助金返還、鳥取養護学校常勤看護師配置の検討を④拙速な美術館建設中止⑤鳥取市中核市移行で保健所移管はサービス低下しないか。

**答** ①議論不十分②4機程度、自衛隊増員百人弱、訓練ルート下に学校等3つ③助成しない。法令違反企業は厳正対処。看護師配置は検討④建設は県民世論⑤低下しないよう努力。

## 高齢者への投票支援、他

安田 優子 議員



選挙区 境港市 党派 自由民主党

**問** ①体が不自由で投票に行けない高齢者の為に在宅投票制度を考えるべき②保育士の待遇改善に取り組むべき③少子高齢化への対応として多世代同居の鳥取型ライフスタイルを誘導したらどうか。

**答** ①(選管委員長)関係法令の改正を引続き国に要望する②今年中に給与等も含めた実態調査をする③国も少子化対策大綱で多世代同居を盛り込んだので、本県でも不動産取得税減免に次ぐ一手として同居を推進する市町村を支援することを当初予算で検討する。

## まちなか過疎からの脱却策

浜崎 晋一 議員



選挙区 鳥取市 党派 自由民主党

**問** ①リノベーションによるまちなか創業に向けて、人と物件を結び付けるプラットフォームが必要ではないか。②リノベーションや地域と学校・大学の連携を拡充し、高齢者の見守り活動につなげることも考えられるのではないか。

**答** ①県事業引き継ぎ支援センター、市、金融機関等のネットワークをフル動員して、リノベーションによるまちなかの活性化につなげていきたい。②良い事例を横展開して、元気な拠点が生まれるよう応援していきたい。

## 米価対策、地域交通政策

福岡 裕隆 議員



選挙区 西伯郡 党派 民主党

**問** ①米価の大幅下落で農家の間で不安の声が出ている。どのように考えるか②西部地域公共交通活性化協議会の設置の目的、誰が主人公が明確にすべき。地域の利用者の意見をどう反映させるのか?

**答** ①強く国に交付金措置の継続を求めていく。特産品の振興等を農業活力増進プランの中で展開していく。②西部の公共交通のあり方のヒントを得るため利用者の声を聞くところ。老人クラブや、障がい者などの委員を拡充し、効率性、利便性と併せて検討を進める。

## 健康寿命の延伸計画

森 雅幹 議員



選挙区 米子市 党派 民主党

**問** 県の健康寿命は、H22年時で男性70歳、女性で73歳。平均寿命はそれぞれ79歳、86歳。病気が要介護で9年から13年暮らすということ。健康寿命延伸は個人の幸福増進、生活の質の低下防止、社会

的負担を軽減するなど重要。現在元氣な団塊の世代を対象に、健康づくり事業を展開してはどうか。

**答** 健康寿命は人生を楽しめる期間。健康寿命の尊さを尊重して、保健活動、健康づくり運動を展開していく必要がある。健康づくり文化創造運動を再セットする。

## 地方創生は住民生活から

川部 洋議員

選挙区 倉吉市 会派 希望のぞみ



**問** 地域創生の真の目的は「住民の暮らしを守り、向上させること」であり、そのために「持続可能な地域コミュニティをつくること」が地方創生の取り組みにおいて必要「だと考えるが知事の考えはどうか？」

**答** 住民と地域を元気に豊かにしていくことが究極の地方創生だと思う。今回の動きをきっかけに、それぞれの地域がやる気を出し、それに市町村が巻き込まれ、県と一緒に手伝うという形で進めていくにはいいチャンスだと思う。

## 有権者教育と郷土愛を

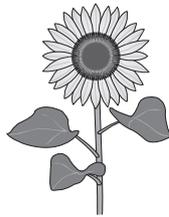
横山 隆義議員

選挙区 東伯郡 会派 希望のぞみ



**問** ①教育は県民一人一人の豊かな生き方を創ると同時に鳥取県の元氣な未来づくりの基礎となる。統一地方選の投票率の低さは問題。今こそ選挙の大切さを教える教育、郷土愛を育てる教育を②郷土愛を育むため、高校生に知事の講演を聴く機会を。

**答** ①様々な施策に取り組んでいく。投票所が減っているのは問題。来夏の参院選をにらんで、啓発グッズの募集も含め、主権者教育の強化策を考えたい②要望があれば喜んで出かける。



答弁者は、記載のないものは知事（各部署長の答弁も含む）。  
教育長、警察本部長、選挙管理委員会委員長は知事の部局ではないため別に表記した。

## 常任委員会活動

鳥取県議会には4つの常任委員会があり、定例会中の付託案件の審議に加え、閉会中も継続審査や県内外調査、勉強会などの活動を続けています。

### 総務教育常任委員会

6月定例会では、提案された平成27年度一般会計補正予算の本委員会所管分など6議案を審議し、原案どおり可決した。

特に、青少年社会教育施設の一部指定管理の導入に関しては、集中審議を行い、社会教育施設の指導員が指導業務に専念できる体制の整備、情報発信機能の充実、運営主体が2系統となる問題等について、議論を尽くした結果、「施設機能の充実を図るため、指導員の体制整備強化について、早急に検討すること」を求める附帯意見を付し、可決した。

陳情は6件を審議した。「地方財政の充実・強化の意見書提出」を求めた陳情は趣旨採択、「県民の声の原則全部公開」を求める陳情ほか3件は不採択、「県立高等

学校の数の維持と学級定員の引下げ」を求める陳情は、研究留保として引き続き議論することに決定した。



総務教育常任委員会での審議

### 福祉生活病院常任委員会

4月の改選に伴い委員が交代し、5月臨時会において、投票による互選の結果、福岡委員長、中島副委員長が選出された。

6月定例会では、新たな体制で、本委員会所管の平成27年度一般会計補正予算をはじめとした6件の